

9月1日は防災の日 もしものときに備えて

図 防災課 ☎ (93) 1114

災害の被害を減らすためには、日頃から防災・減災に対する心構えと備えをし、災害対応力を高めることが大切です。
9月1日の「防災の日」を機会に、適切な行動がとれるよう、家庭や地域での防災対策を再確認しましょう。

突発的な災害 地震

ある日、あるとき、突然くる地震。被害を減らし、身を守るために、あらかじめ対策しておくことが大切です。

✓ まずは身を守る

- ☐ 丈夫なテーブルの下に隠れる
- ☐ 座布団やクッション、鞆などで頭を保護する
- ☐ 倒れやすい家具や落下物に注意する
- ☐ 慌てて外へ飛び出さない
- 揺れが落ち着いたら・・・
- ☐ 窓や戸を開けて出口を確保する
- ☐ 火元を確認する
- ☐ 余震に備え、家具や電化製品の傾き、家具固定の外れを確認する



今から確認しておこう！家具の転倒対策

- 近年発生した地震によるけが人のうち3～5割は、家具類の転倒や落下、移動が原因です。
- 被害を未然に防ぐために、家具の転倒対策を実施しましょう！
- 寝室にできるだけ家具類を置かない
 - けがをしたり出口を塞いだりしないよう位置や向きを考える
 - 家具を固定する器具の取付 など



✓ 慌てずに安全な場所へ移動する

☐ 今居る場所が**危険**な場合⇒近くの避難所へ移動

避難する際は、ガスの元栓を閉めるだけでなく、電気のブレーカーも落としましょう。
停電が復旧すると、自動で電源が入った電気機器の転倒や雨漏りによるショートが原因で、火災になる場合があります。



今から確認しておこう！ペットと避難するために

避難所では、指定された場所で、ケージに入れるかリードに繋ぎとめて飼育します。日頃から、ケージに慣らしておきましょう。また、避難先にはさまざまなペットが来るため、普段からフクチン接種や外部寄生虫の駆除などの健康管理に注意しておきましょう。

☐ 今居る場所が**安全**な場合⇒在宅避難

自宅での安全が確保できた場合、無理に避難所に行く必要はありません。
自宅での居住の継続ができる状況であれば、在宅避難や親戚・友人の家などへの避難を検討してみてください。

在宅避難のめやす

- 住民にケガなどはないか。
 - 自宅に倒壊や傾きなどの被害がないか。
 - 火災などの危険性がないか。
 - 必要最低限の水や食糧、物資は確保しているか。
- (詳しくは 4 ページ)

✓ 安全な場所で安否確認などを行う

☐ 家族などの安否確認を事前に決めた方法で実施



今から確認しておこう！家族と離れ離れにならないために

家族が職場や学校など離れた場所にいるときに、災害が起きるかもしれません。
事前に、さまざまなケースを想定した複数の方法を検討しておきましょう。

- 連絡の方法（災害用伝言ダイヤル・伝言板など）
- 避難場所・集合場所
- 子どもの引き渡しルール
- 役割分担



予測可能な災害 風水害

風水害は、ある程度の予測ができるため事前の備えが重要です。
自分が暮らす地域の危険や「防災気象情報」などを確認して、早めに行動しましょう。

✓ 事前に確認しておくこと

☐ 自宅での備え

道路の側溝や雨水ますの吸込み口に落ち葉などが溜まっていると、道路の冠水や住宅への浸水の原因となるおそれがあります。日頃から清掃を行いましょう。
また、雨戸・ガラスの点検をして、いざというときに、強風による飛来物から守ることができるよう備えておきましょう。



☐ 自宅などから避難所までのルートを確認

いざというときに慌てないために、自宅や職場などから避難場所までのルートを確認しておきましょう。
さらに、自宅や避難所までのルートのなかで、土砂災害警戒区域に指定された箇所がないか、根本名川の氾濫によりどのくらい浸水する可能性があるのか、市公式ホームページや防災マップなどで事前に確認しておきましょう。



◀ 避難所一覧



◀ 根本名川洪水浸水想定区域



▲ 防災マップ

✓ 「防災気象情報」が変わりました！

5月29日から「新たな防災気象情報」の運用が開始されました。
発表される警報・注意報の名称にレベルが付記され、とるべき行動の目安がわかりやすくなりました。

河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮	警戒レベルごとのとるべき行動
レベル 5 氾濫特別警報	レベル 5 大雨特別警報	レベル 5 土砂災害特別警報	レベル 5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保
レベル 4 氾濫危険警報	レベル 4 大雨危険警報	レベル 4 土砂災害危険警報	レベル 4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
レベル 3 氾濫警報	レベル 3 大雨警報	レベル 3 土砂災害警報	レベル 3 高潮警報	高齢者など避難に時間を要する人は早めに避難 そのほかの人も避難の準備
レベル 2 氾濫注意報	レベル 2 大雨注意報	レベル 2 土砂災害注意報	レベル 2 高潮注意報	避難行動を確認 (避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
レベル 1 早期注意情報				災害への心構えを高める (気象情報に注意し、家や備蓄品の確認)

✓ 避難時の注意

☐ こんなときは土砂災害に注意！！

- 土砂災害の発生前には、次のような兆候が見られることがあります。少しでも不安を感じた場合は、避難指示を待たずに避難しましょう。
- 崖にひび割れができる
 - 小石がパラパラと落ちてくる
 - 崖から水が湧き出る
 - 湧水が止まる、濁る
 - 地鳴りが聞こえる

☐ 冠水している道路は危険がいっぱい！

冠水している道路は深さが分からず、マンホールや側溝のふたが外れていることもあるので、とても危険です。
傘や長い棒などで地面を確認しながら歩くようにしましょう。

